△ナルラピド錠　［内］

【重要度】★　【一般製剤名】ヒドロモルフォン塩酸塩　Hydromorphone Hydrochloride　【分類】癌疼痛治療剤［即放型オピオイド］
【単位】△1mg・▼2mg・▼4mg/錠
【常用量】■4～24mg/日
■レスキュー：1日量の1/6～1/4
■他剤からの切り替え用量設定はナルサス錠を参照
【用法】■定時投与：1日4～6回
■レスキュー投与：疼痛時に使用
【透析患者への投与方法】排泄遅延を考慮して使用（1）
【その他の報告】代謝物（H3G）が蓄積するが透析除去されるため，HD患者にも適用できる（Davison SN, et al: J Opioid Manag 2008 PMID: 19192761）
【保存期CKD患者への投与方法】排泄遅延のため低用量から開始（1）
腎機能正常者よりもCcr 40～60mL/minでAUC2倍，Ccr 30mL/min未満でAUC4倍［即放性製剤］（1）高用量での消失半減期延長も考慮（5）
【特徴】
【主な副作用･毒性】依存性，呼吸抑制，イレウス，意識障害，傾眠，呼吸困難，消化器症状など，一般的なオピオイドの作用に注意.
【安全性に関する情報】
【吸収】食事によりAUC1.3倍（1）
【F】24%［空腹時］（1）
【tmax】1hr以内（1）
【代謝】グルクロン酸抱合を受ける［3-グルクロニド］（1）代謝物の活性は極めて低い（1）一部は3-グルコシド体に変換（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 3%［po，48hrまで］（1）尿中に3-グルクロニドとして30%回収（1）
【CL/F】330～490L/hr（1）
【t1/2】1～2mg投与時5～9hr，4mg投与時18hr（1）腎機能正常～中等度腎障害約15hr，高度腎障害約40hr（Durnin C, et al: Proc West Pharmacol Soc 2001 PMID: 11794004）透析患者の非HD時5.9hr，HD時3.2hr，H3Gは非HD時33hr，HD時1.8hr（Davison SN, et al: J Opioid Manag 2008 PMID: 19192761）
【蛋白結合率】24～30%（1）
【Vd/F】3300～8700L/body（1）
【MW】
【透析性】透析クリアランス105mL/minでダイアライザを通過する（Perlman R, et al: Pain 154: 2794-800, 2013 PMID: 23973378）グルクロン酸抱合体は透析で良好に除去される（Davison SN, et al: J Opioid Manag 4: 335-44, 2008 PMID: 19192761）ダイアライザは通過するが，Vdが大きいので効率的には除去されないと思われる（5）
【O/W係数】
【肝障害患者への投与方法】
【小児CKD患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20241010

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。